

給食で食を考えましょう !!

学校給食週間について知ろう !

学校給食は、明治 22 (1889) 年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で、お弁当を持参できない子どもたちのために、おにぎり・塩鮭・つけものなどを提供したことが始まりとされています。その後、全国に広がりましたが、昭和 16 (1941) 年ごろから戦争による食料の不足で、中断しました。

戦後、食糧難により児童の栄養状態が悪化し、学校給食再開を求める国民の声が高まり、学校給食が再開されました。これを記念して 12 月 24 日が「学校給食感謝の日」と定められました。しかしこの日は冬季休業中のため一か月後の 1 月 24 日から 30 日を「全国学校給食週間」としました。

この機会に、学校給食の意義や役割、食べ物の大切さについて考えてみましょう。

大阪市の「給食の歴史」を見てみよう

The diagram illustrates the evolution of school meals in Osaka through four historical milestones:

- 昭和 24 年 (1949):** 大阪市の 3 つの小学校で給食が始まりました。
- 昭和 25 年 (1950):** 脱脂粉乳が登場します。
※大阪市のすべての小学校で給食が始まりました。
- 昭和 56 年 (1981):** 米飯給食が月 1 回始まりました。
※平成 30 年から牛乳はパック入りになりました。
- 平成 25 年 (2013):** 正月の行事献立です。

社会の変化とともに、みなさんの周りの環境も大きく変化しています。同じように給食も、時代背景や食生活の変化によって内容が変わっています。

今では行事にちなんだ献立、諸外国の料理、旬の食品を使用した献立が登場しています。毎日の給食をこれからも楽しみにしていてください。